

子ども特派員 わが街を行く!

この紙面は、自分の住んでいる街や校内活動を、自分たちで取材・編集する「子ども特派員」とともに編集しています。

今回の「子ども特派員」は、東小学校6年生の飯塚真都さん、いづつかまると
太楽潤一さん、たいらくじゆんいち 浅野泰芽さん、あさのたいが (前列左から)、谷口龍汰さん、やぐちりゅうた
杉原一馬さん、すぎはらかずま 谷口航太郎さん、やぐちこうたろう (後列左から)が、東小学校全校児童で参加した「平成25年度茨城県小中学校芸術祭小中学校合唱合奏大会」を紹介します。

楽しかった音楽会♪

私たち東小学校は、茨城県立県民文化センターで開催された音楽会に参加しました。参加していた他の小学校は、6年生や高学年で参加していましたが、東小学校は児童数が少ないので、全校児童48人で参加しました。東小学校は、児童が少ないけれど、1年生から6年生までみんな家族のように仲良しです。



音楽会では「手のひらを太陽に」「ドレミの歌」の2曲を発表することになりました。私たち6年生は最高学年なので、みんなをまとめなければいけないと思い、一生懸命練習しました。練習は、1学期の7月から始まり、業間休みや音楽の授業で行いました。練習を重ねるごとにみんなの息が合ってきました。そして、練習の成果を10月23日に保護者の前で発表しましたが、初めてお客さんの前で歌ったので緊張しました。その後も、市の小中学校音楽会や三世代交流会で地域の方々にも聞いてもらいました。三世代交流会では、いつもお世話になっている地域の方々のために頑張って歌いました。

そして、県の合唱合奏大会当日を迎えました。私たちの順番は2番目だったので、開会式に出ないで練習をしていました。いよいよ私たちの順番がきました。ステージからはすごくきれいに客席が見えて、歌っていてすごく気持ちが良かったです。また、いつも先生に言われているように「練習は本

番のように、本番は練習のように」と思いながらステージに立ったら、あまり緊張はしませんでした。審査の先生から「元気がいっぱい動き、歌にパワーももらい、今まで楽しく練習に取り組んできたことが伝わるすてきな合唱でした」と言ってもらえ、とてもうれしかったです。

音楽会が終わって、いつも練習の時に先生が言っていたことは一つ一つすごく大切なことだったんだと思いました。歌も楽しく歌え、すごくいい思い出になりました。練習を見てくれた先生や何回も発表を聞いてくれた、家族、地域の方に本当に感謝したいです。



年度 茨城県小中学校芸術祭
小中学校合唱合奏大会

